DAINICHI

正しく使って上手に節約！

取扱説明書

ブルーヒーター

FB-565LD
(エフ ビー ... エル ディー)

目次

保証書別添付

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
お使いになる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでも取り出せる場所に、保証書と共に大切に保管してください。

［強制通気形開放式石油ストーブ］

安全のために必ずお守りください

この取扱説明書にある項目は、危険の程度によって次の3段階に区分しています。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本文中のマークは、次の意味を表します。

	このマークは、してはいけない「禁止」を表しています。
	このマークは、必ず実行していただく「指示」を表しています。

⚠危険(DANGER)

ガソリン使用禁止

ガソリンなど揮発性の高い油は絶対に使用しないでください。
火災の原因になります。

⚠警告(WARNING)

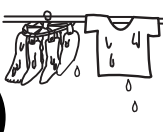
換気必要

換気せずに使用を続けないでください。酸素が不足すると不完全燃焼し、一酸化炭素などが発生して中毒になるおそれがあります。また、乳幼児や呼吸器疾患などの方は、体調不良になるおそれがあります。
窓の凍結、地下室など換気が十分に行えない場所では、使用しないでください。

スプレー缶厳禁

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを温風のあたるところに放置しないでください。
熱で缶の圧力が上がり、爆発し、危険です。

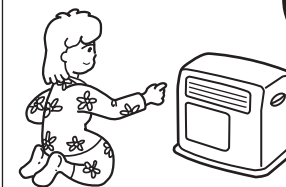
衣類の乾燥厳禁

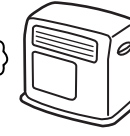
衣類などの乾燥には使用しないでください。
衣類が落下して火がつき、火災の原因になります。

⚠警告(WARNING)

温風吹出口をふさがない

衣類、紙などで温風吹出口や燃焼・温風空気取入口をふさがないでください。また、ストーブガードをご使用のときは、囲いに干し物を掛けたりしないでください。
異常燃焼や火災の原因になります。

寝るとき消火

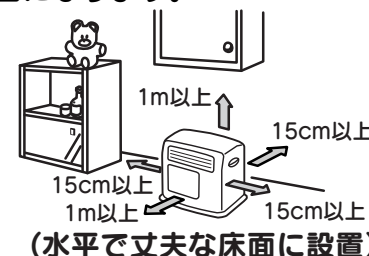
寝るときや外出するときは、必ず消火してください。
予想しない事故が発生するおそれがあります。

可燃性ガス使用厳禁

ファンヒーターを使用している部屋で、可燃性ガスが発生するもの(ベンジン、シンナー)、スプレーを使用しないでください。
火災や故障の原因になります。

⚠注意(CAUTION)

1 設置

可燃物との距離を離す

図に示すファンヒーターの周囲には可燃物を置かないでください。
火災の原因になります。

(水平で丈夫な床面に設置)

カーテン、可燃物近接禁止

カーテンや燃えやすいもののそばなどでは使用しないでください。
火災が発生するおそれがあります。

次の場所では使用しない

火災や予想しない事故の原因になります。

- 振動の激しい場所
- 水平でない場所、不安定な場所
- 不安定な物をのせた棚などの下
- 風のあたる場所、部屋の出入口、屋外
- 人のいない場所、人があたたまる目的以外での場所(温室、飼育室など)
- 可燃性ガスの発生する場所またはたまる場所

→ 火災の原因になります。

- 窓の凍結などのため、換気が十分に行えない場所
- 暖炉や押し入れなど、ファンヒーターが囲われる場所
- ほこり・湿気・金属粉の多い場所
- 標高1,000m以上の高地

→ 不完全燃焼の原因になります。

- 直射日光のあたる場所
- 理・美容院、クリーニング店、はんだ付け作業所、メッキ・塗装工場などスプレーや化学薬品を使う場所

→ 故障や予想しない事故が発生する原因になります。

ご使用前 安全のために必ずお守りください

安全のために必ずお守りください

⚠注意(CAUTION)

2 使用時

移動するときの注意

ファンヒーターを移動するときは、火を消してカートリッジタンクを取り出し、傾けないように静かに運んでください。
灯油がこぼれると火災の原因になります。

異常時使用禁止

臭い、すすの発生、炎の色など異常を感じたときは使用しないでください。
異常燃焼のおそれがあります。

運搬するときの注意

ファンヒーターを運搬するときは、カートリッジタンク・油受皿内の灯油を抜いてください。
運搬の途中で灯油がこぼれて周囲を汚すおそれがあります。

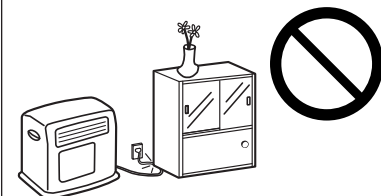
ファンフィルターは必ず使用

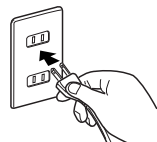
ファンフィルターを取り外した状態で使用しないでください。
内部にほこりがたまり、異常燃焼の原因になります。

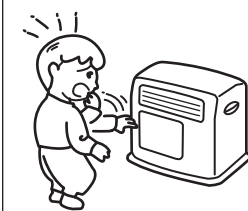
シリコーン配合商品を使用しない

ファンヒーターを使用している部屋や隣接する部屋では、シリコーン配合商品を使用しないでください。異常燃焼のおそれや着火ミス、途中消火、換気ランプ点滅の原因になります。また、シリコーン配合商品が原因で修理を依頼されたときは、保証期間中でも保証の対象外となります。
シリコーン配合商品とは、化粧品類(ヘアトリートメント、枝毛コート剤などのヘアケア製品、保湿用クリームなど)、家具などのつや出し剤、防水スプレーなどです。

電源コードを傷めない

電源コードに無理な力を加えたり、重い物をのせないでください。また、高温部に近づけたり、束ねたまま使用しないでください。
電源プラグを抜くときは、コードを持って引き抜かないでください。
火災や感電の原因になります。

電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込み、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
火災の原因になります。
ぬれた手での抜き差しはしないでください。
感電の原因になります。

高温部接触禁止

燃焼中や消火直後は温風吹出口やガードなどに手など触れないでください。
やけどのおそれがあります。

温風に直接あたらない

温風に直接長時間あたらないでください。特にお子様や、病気の方などがご使用のときは注意してください。
低温やけどや脱水症状になるおそれがあります。

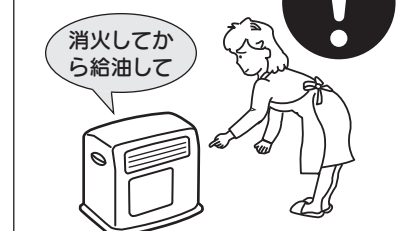
本体内に指や異物を入れない

温風吹出口や燃焼・温風空気取入口に指や可燃物・針金などの異物を入れないでください。
けがややけどを負ったり、火災・感電の原因になります。

⚠注意(CAUTION)

3 給油時

給油時消火

火災のおそれがありますので、給油は必ず消火し、火の気のないところで行なってください。

油漏れ確認

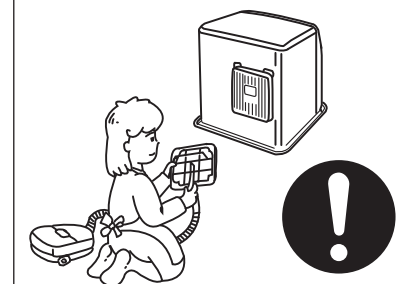
口金は確実に閉めてください。口金を下にして油漏れがないことを確かめてください。
口金を斜めに閉めたりすると簡単に口金が外れて、火災のおそれがあります。

変質灯油使用禁止

変質灯油(持ち越した灯油など)、不純灯油(灯油以外の油・水・ごみが混入した灯油など)を使用しないでください。
異常燃焼のおそれがあります。

4 点検・手入れ・保管・廃棄

ほこりの除去

ファンフィルターは週に1回以上必ず掃除してください。
ごみ、ほこりなどが付着すると異常燃焼のおそれがあります。

分解修理・改造の禁止

故障・破損したら、使用しないでください。また、お客様自身による修理や改造、分解はしないでください。
不完全な修理や改造は危険です。

保管時にしていただくこと

長期間使用しないときや、保管するときは、必ずカートリッジタンク・油受皿内の灯油を抜き、傾けたり横倒しの状態で保管しないでください。
火災のおそれがあります。

電源プラグのお手入れをする

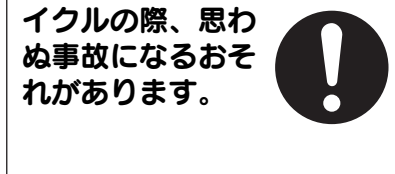
ときどきは電源プラグを抜き、ほこりや金属物を除去してください。
ほこりがたまると湿気などで絶縁不良になり、火災の原因になります。

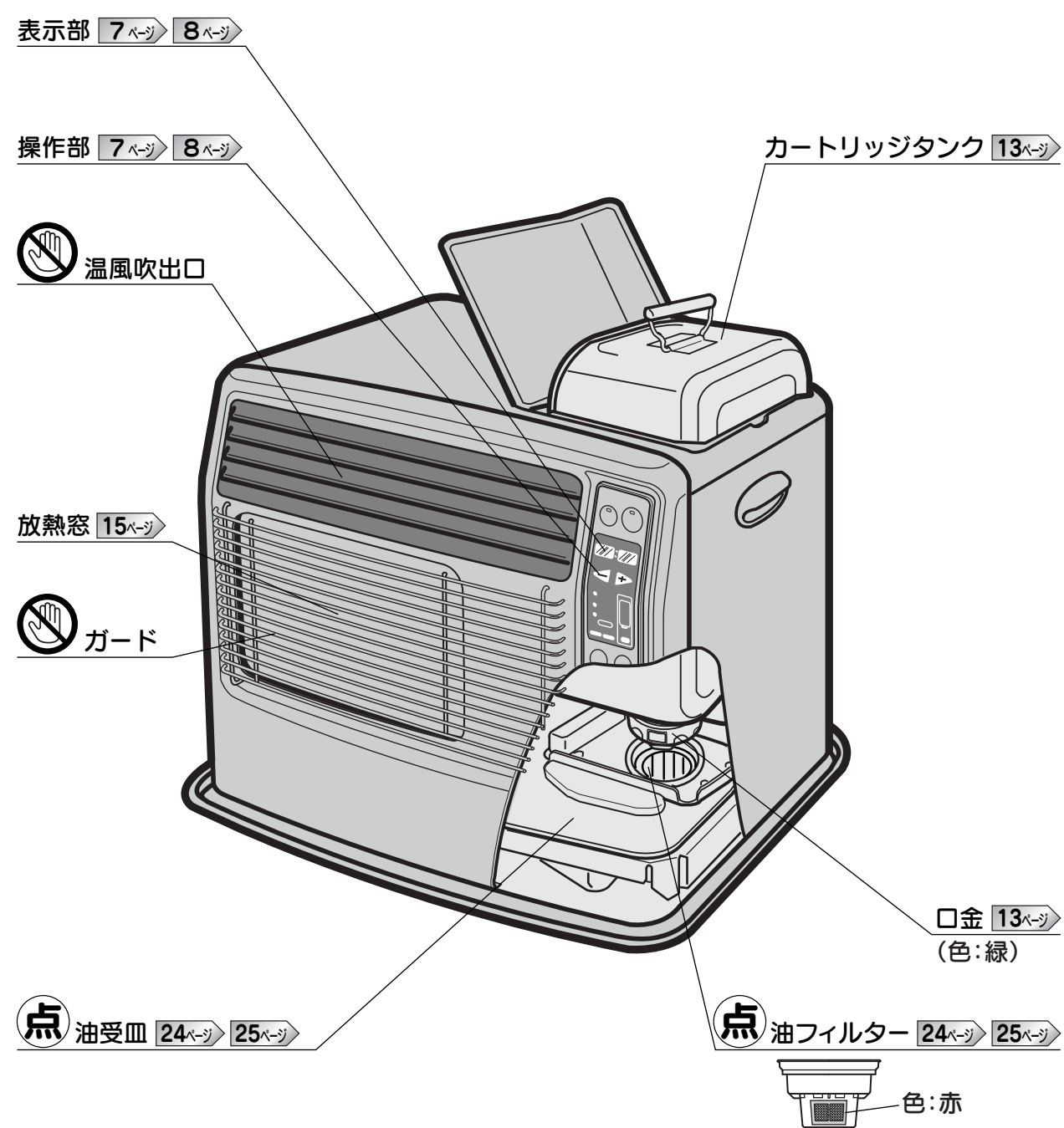
長期間使用しないときは電源プラグを抜く

長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。
火災や予想しない事故の原因になります。

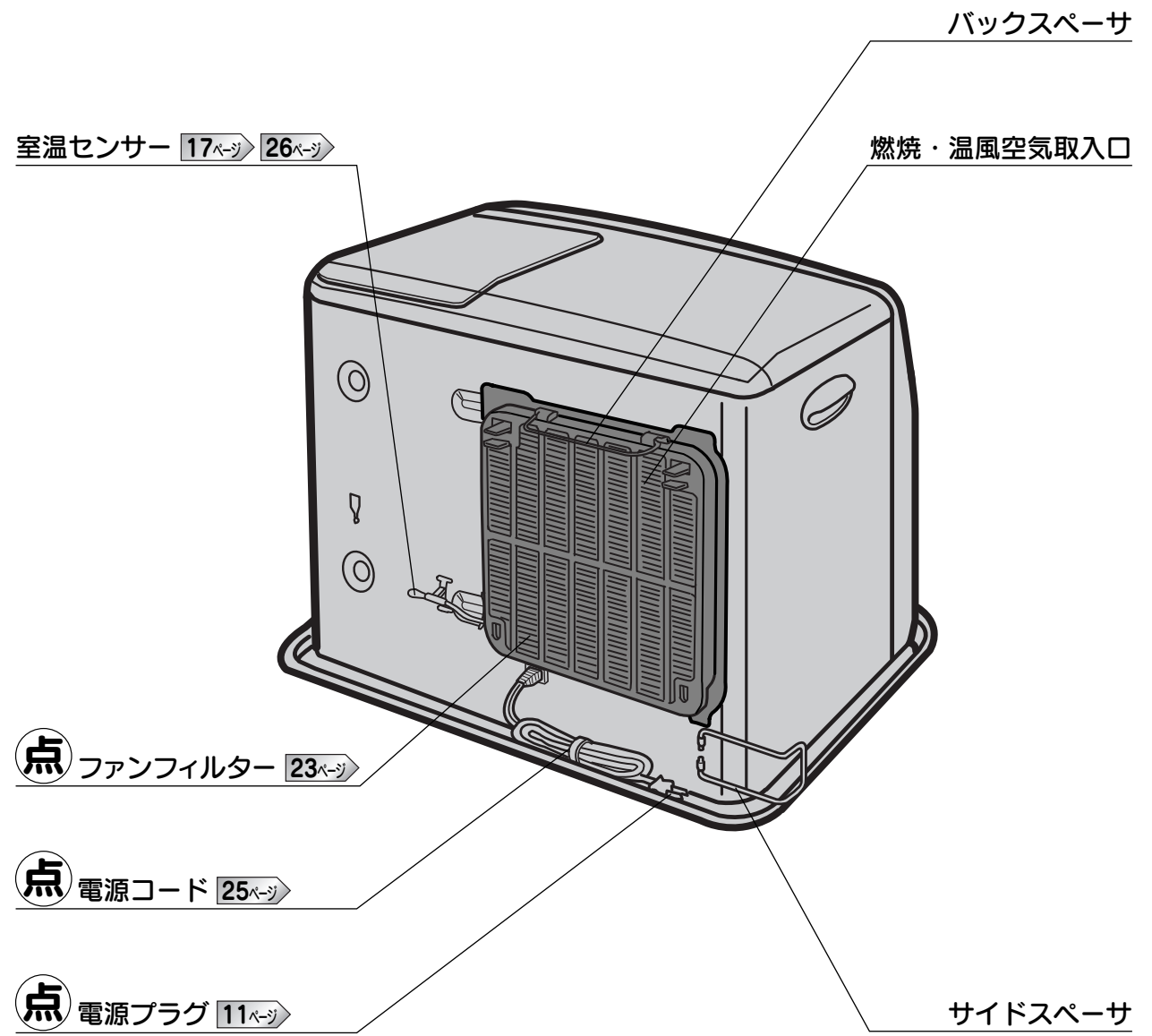
廃棄するとき

ファンヒーターを廃棄処分するときは、必ずカートリッジタンク・油受皿内の灯油を市販の給油ポンプなどで抜いてください。25ページ
灯油が入ったまま廃棄すると、リサイクルの際、思わぬ事故になるおそれがあります。

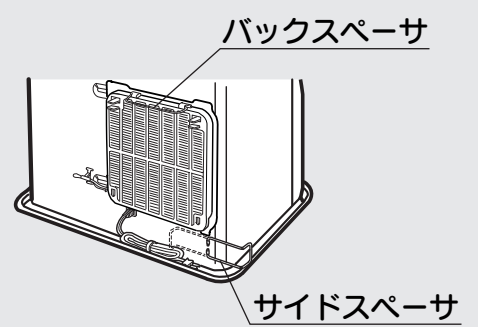
各部のなまえ

外観図

前面

運転中高温になる部分(ご注意ください)

点 点検・手入れが必要な部分

背面

お守りください

- ○バックスペーサは水平に倒してお使いください。
  カーテンなどで燃焼・温風空気取入口がふさがれるのを防ぎます。
- ○サイドスペーサはファンヒーターの左側面が壁に近い場合、壁に密着しないよう図のようにしてお使いください。

各部のなまえ

※表示部は説明のため、すべて表示した状態です。
使用中に、すべて表示することはありません。

運転延長ランプ（赤）19ページ
運転延長ボタン 19ページ
温度/時刻調節ボタン 17ページ 20ページ 21ページ
現在時刻ランプ（緑）20ページ
時刻合せランプ（緑）20ページ
タイマー合せランプ（緑）21ページ
表示切換ボタン 20ページ 21ページ
フィルターランプ（赤）27ページ
換気ランプ（赤）27ページ
ひかえめランプ（緑）17ページ
ひかえめボタン 17ページ
待機中ランプ（赤）17ページ

運転ランプ（赤）15ページ 16ページ 22ページ
消臭消火ランプ（赤）16ページ
運転 入/切 スイッチ 15ページ 16ページ 22ページ
設定温度表示 15ページ 17ページ
エラー表示 27ページ
室内温度表示 15ページ 17ページ
時刻表示 20ページ
バーグラフ油量計 14ページ
給油ランプ（赤）14ページ
タイマーランプ（緑）22ページ
タイマーボタン 22ページ
チャイルドロックボタン 18ページ
チャイルドロックランプ（緑）18ページ

点滅：消臭消火
運転 入/切
運転延長
設定温度 室内温度
温度／時刻調節
現在時刻
時刻合せ
タイマー合せ
表示切換
油量
フィルター 換気 給油
ひかえめ
タイマー
待機中
チャイルドロック 3秒押し

メロディーと電子音の切り換えかた

「給油の合図」と「燃焼残り時間のお知らせ」は、**メロディー**でお知らせします。
（**メロディー**はそれぞれ異なります）

運転中に
運転延長
ピッピッ
約５秒間押す
メロディー
電子音
ピッポッ ピッポッ ピッポッ
※それぞれ切り換わります。

工場出荷時や電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは、**メロディー**になります。

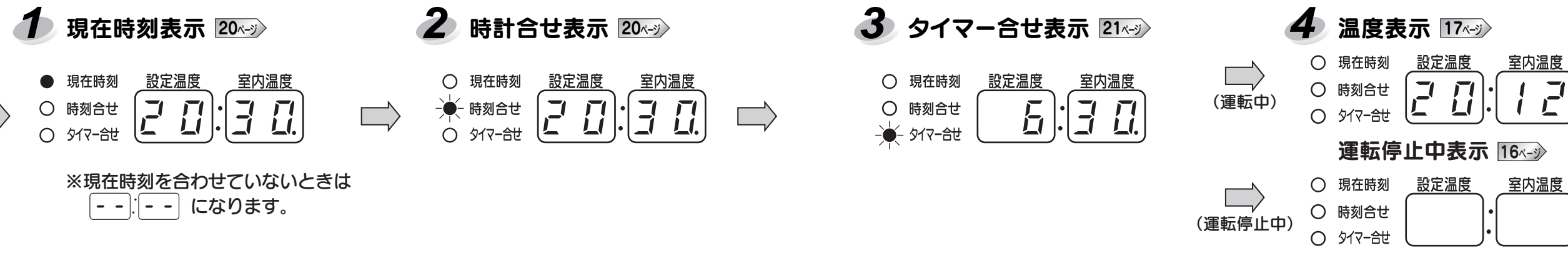
表示切換ボタンを１回押すごとに、１～４の順で表示が切り換わります。

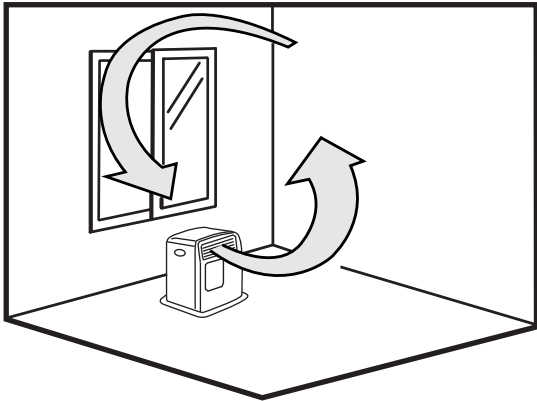
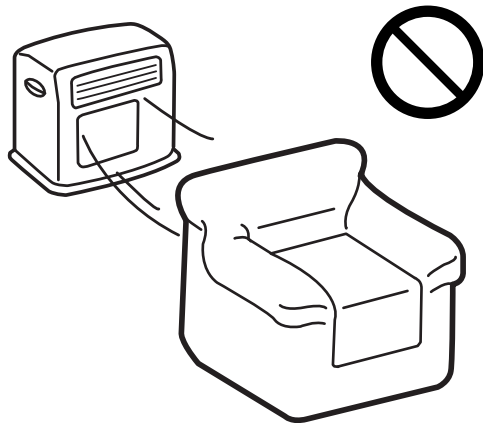
● 現在時刻
○ 時刻合せ
○ タイマー合せ
設定温度 室内温度
20:30

※現在時刻を合わせていないときは
--:-- になります。

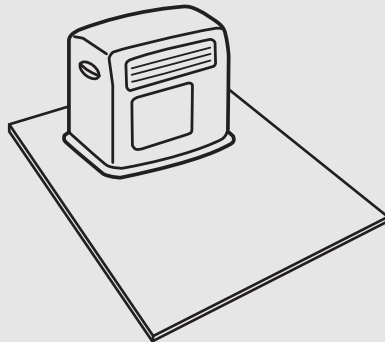
○ 現在時刻
時刻合せ（点滅）
○ タイマー合せ
設定温度 室内温度
20:30

（運転中）
運転停止中表示 16ページ

使用する場所

効果的に使用するために

外気に接する窓の下や壁側に設置する

温風の循環を妨げない

メモ

○熱に弱い材質の床面(カーペット、木質床、畳など)で長時間使用すると、変色・ひび割れ・そり返りなどが発生することがあります。
また、ほこりやたばこの煙などで変色することもあります。保護のため、マットなどを敷いて使用してください。
○移動するときは引きずらないでください。カーペット、床面、畳に傷をつけるおそれがあります。

使用前の準備

ファンヒーターの取り出し

包装箱から緩衝材などを取り除き、ファンヒーターを取り出す

○工場で燃焼検査を行なっているため、油受皿内に灯油が少量残り、灯油臭を感じることがありますが、異常ではありません。

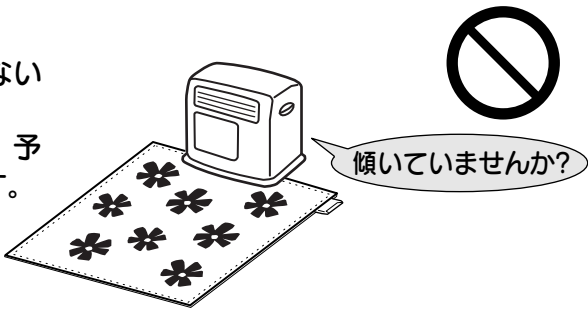
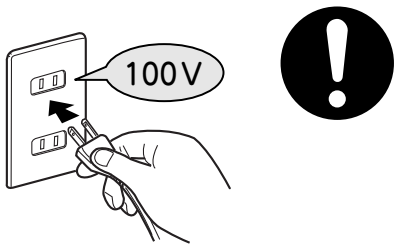
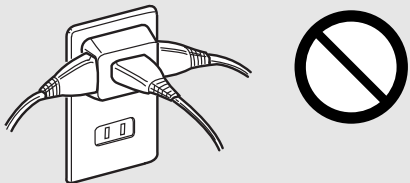
お守りください

○包装箱と緩衝材は保管時に必要となりますので、大切に保管してください。

使用前の準備

運転開始前の準備と確認

1 水平な場所に設置する

○ファンヒーターが傾いた状態では使用しないでください。
給油ランプが誤動作によって点滅したり、予想しない事故が発生するおそれがあります。

2 電源プラグをコンセント(100V)に差し込む

○家庭用電源以外では使用しないでください。
異常燃焼や予想しない事故の原因になります。
○200V電源には絶対に差し込まないでください。
火災、感電、故障の原因になります。
○タコ足配線はしないでください。
火災の原因になります。

燃　　料

燃料は必ず灯油(JIS1号灯油)を使用してください

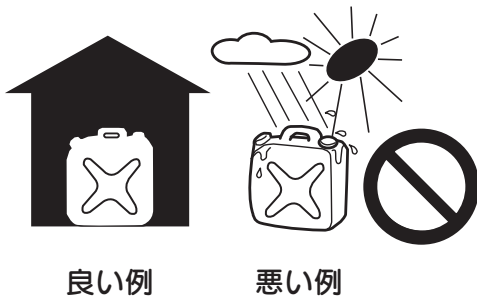
ガソリン、変質灯油、不純灯油は、絶対に使用しないでください。
異常燃焼や故障の原因になります。
(灯油を購入されるときは、SQマークを表示している販売店で購入されることをおすすめします)

灯油とガソリンの見分けかた

指先に燃料をつけて、火の気のないところで息を吹きかけてください。

灯　油	ガソリン
○	×
ぬれたまま	すぐ乾く

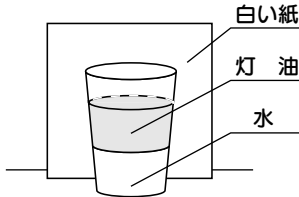
■正しい灯油の保管方法

○火気、雨水、ごみ、高温、直射日光を避けた場所に保管してください。
○容器のふたをしっかり閉めてください。
○容器は必ず灯油専用のものを使用してください。
(乳白色の容器で保管した灯油は変質しやすくなります)
○ホームタンクやドラム缶を使用しているときは、年に数回、水抜きを行なってください。
○灯油は翌シーズンに持ち越さないでください。

変質灯油・不純灯油とは

■変質灯油

○昨シーズンより持ち越したもの
○高温の場所で長期間保管したもの
○日光のあたる場所で長期間保管したもの
○乳白色のポリ容器で保管していたもの
○容器のふたが開けてあったもの

変質灯油の見分けかた

水より少しでも色がついていたり、すっぱい臭いのするものは変質灯油です。

■不純灯油

○灯油以外の油(ガソリン、シンナー、天ぷら油、機械油、重油、軽油、灯油添加剤など)がほんの少しでも混入したもの
○水やごみ、ドラム缶のさびなどが混入したもの
○灯油水抜剤や助燃剤を添加したもの

変質灯油や不純灯油を使用したときの症状

○臭いが強くなる。
○黄色い炎が混じる。15ページ
○火力が上がらない。
○消火しにくい。
○着火しにくい。
○給油ランプが点滅する。
○途中消火する(E02,E03,E 13)。

万一変質灯油や不純灯油を使用したときの処置方法

○灯油を抜き、きれいな灯油でカートリッジタンクや油受皿内、油フィルターを洗ってからご使用ください。24ページ 25ページ
○着火・消火を5回程度繰り返してください。
(少し臭いがしますので、換気を十分に行なってください)
○それでも直らないときは修理が必要となります。お買い上げの販売店にご相談ください。裏表紙

○変質灯油、不純灯油が原因で修理を依頼されたときは、保証期間中でも保証の対象外となります。

使用前の準備

給油のしかた

給油は必ず消火し、火の気のないところで行なってください

1 カートリッジタンクを取り出す

○カートリッジタンクを持ち運ぶときは上下2つある取っ手を利用すると、持ちやすくなります。

2 口金を外す

○口金の両方のボタンを同時に押して、上に持ち上げて外してください。

両方のボタンを同時に押す

ボタン

○外した口金にごみ、糸くず、ほこりなど付着しないように注意してください。また、ぶつけたり落としたりしないよう取り扱いに注意してください。

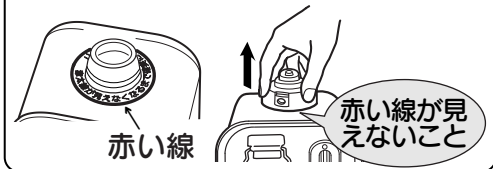
3 給油する

○油量計の上端を超えないよう給油し、灯油をあふれさせたり、こぼしたりしないように注意してください。

○こぼれた灯油は完全にふき取ってください。

4 口金を確実に閉める

○口金外側を上から「カチッ」と音がするまで押してください。また、口金のボタンを押したまま閉めないでください。確実に閉まらず、口金が外れ火災のおそれがあります。

○口金を閉めたあと、軽く引き上げて外れないこと、下図のように斜め上から見てタンクの赤い線が見えないことを確認してください。

○必ず火の気のないところで口金を下にして油漏れがないことを確認してください。

※漏れているときは、口金を交換してください。29ページ

漏れを確認　口金

5 カートリッジタンクをセットする

○カートリッジタンクをセットしたあと、ファンヒーターをゆすったりすると、口金の外側が灯油でぬれることがあります。

静かに

お守りください

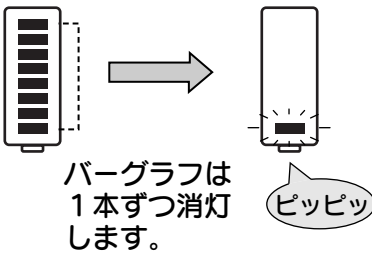
○**カートリッジタンクと油フィルターは、機種により異なります。専用のものをご使用ください。**

○**給油時、口金が外れにくかったり、ボタンに異常を感じたときは使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。**裏表紙

○**口金を閉めたあと、必ず口金を引き上げ外れないことを確認してください。確実に閉めないと口金が外れて、周囲を汚したり、火災のおそれがあります。**

○**カートリッジタンクは静かに入れてください。落とすように強く入れると、油量モニターの表示の精度が悪くなるおそれがあります。**

給油の合図

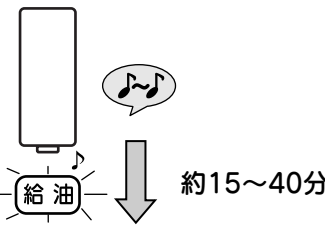
■油量モニター・・・・・8段階のバーグラフで灯油の残量を確認できます。

残り約1時間の燃焼が行えないときに次の操作を行うと、バーグラフが点滅すると同時に**電子音**が鳴って、灯油が残り少ないことをお知らせします。

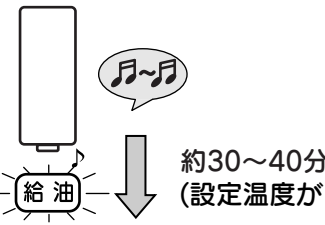
○運転を開始するため**運転 入/切スイッチ**を押したとき

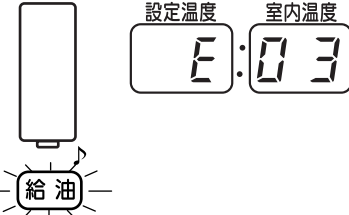
○運転中に**運転延長ボタン**を押したとき

○タイマー運転をセットしたとき

■給油2段階サイン・・・給油の合図を2回に分けて**メロディー**と**給油ランプ**の点滅でお知らせします。
手が離せないときでも余裕をもって給油が行えます。
(メロディーお知らせを電子音に切り換えるには・・・8ページ)

1回目のお知らせ

○カートリッジタンクの灯油がなくなると、**給油ランプ**がゆっくりと点滅し、**メロディー**が鳴ります。

2回目のお知らせ

○油受皿の灯油が残り少なくなると、**給油ランプ**が速く点滅し、**メロディー**が鳴って火力が小さくなります。
設定温度が"Hi"のときは、大火力で燃焼します。

給油　約30～40分
(設定温度が"Hi"のときは1回目のお知らせから約25分)

自動消火

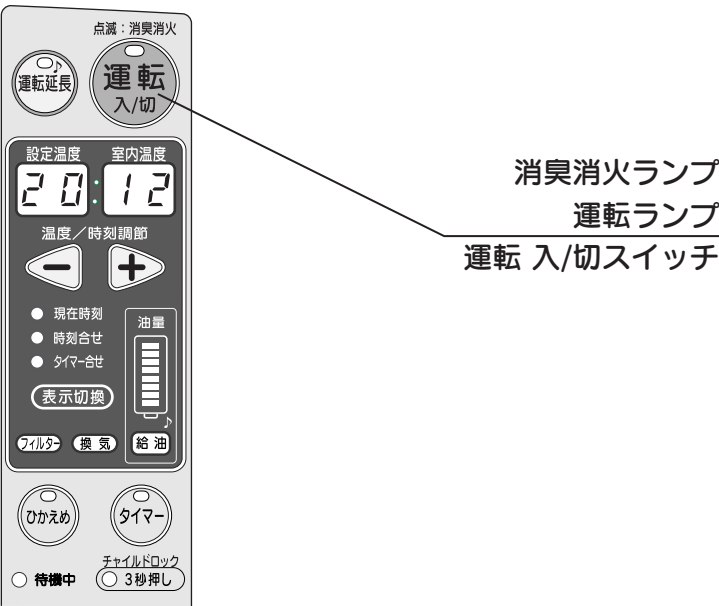
○そのまま使用を続けると、油受皿の灯油がなくなり、"E 03"を表示して自動消火します。使用状況により2回目のお知らせと同時に消火することがあります。

○給油を行い、**運転 入/切スイッチ**を押すと、運転を開始します。

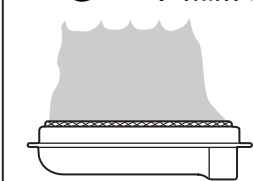
※燃焼時間は火力によって異なります。

○給油2段階サイン中に電源プラグをコンセントから抜いたり停電したときは、次回運転時は2回目のお知らせからとなります。また、燃焼時間は前回の使用状況により異なります。

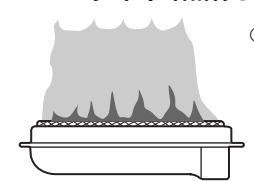
運転を開始するとき

消臭消火ランプ
運転ランプ
運転 入/切スイッチ

運転 入/切スイッチを押し、運転を開始します

運転停止中に

を押す

約45秒後に着火します。

設定温度と室内温度により自動的に燃焼量を変え運転します。

- ○**運転ランプ**が点灯します。
- ○**設定温度と室内温度**を表示します。
  - ・室内温度は、1℃から表示し、0℃以下のときはLoを表示します。

放熱窓から炎の状態を確認する

○正常燃焼

- ○青い炎で燃焼する。
- ○バーナの網が赤くなっていても、炎の中に黄色い炎が現れなければ異常ではありません。

×異常燃焼

- ○炎の中に常に黄色い炎が現れる。

処置を行なってください。 28ページ

メモ

○初めてお使いになるときは、防錆油や耐熱塗料が焼け、オレンジ色の炎や煙、臭いが出ることがあります。１時間ほどでおさまりますので、部屋の換気をしながらご使用ください。

運転を停止するとき

運転 入/切スイッチを押し、運転を停止します

運転中に

を押す

⇨ 約８秒間、消臭消火ランプ(赤)が点滅後に消火します。

必ず火が消えたことを確認してください。

- ○表示部が消灯し、**消臭消火ランプ**(赤)が点滅します。

お守りください

- ○**消火は必ず運転 入/切スイッチで行なってください。**
  また、運転停止後３分間は、本体内を冷やすためファンが回っていますので、電源プラグをコンセントから抜かないでください。電源プラグを抜いて消火したり、消火後すぐに電源プラグを抜くと、故障の原因になります。

消臭機能

着火するときや消火するときに発生する臭いの原因となる未燃ガスの発生を抑える機能です。

着火するとき

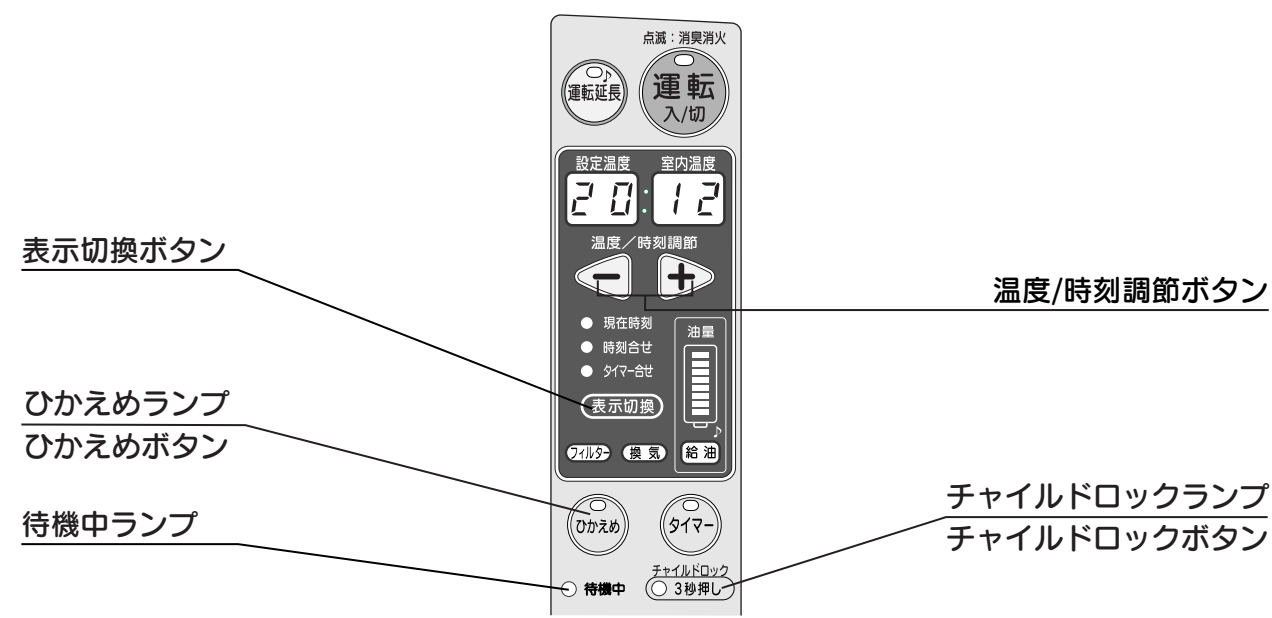
- ○着火動作時数秒間、未燃ガスの発生を抑えています。
  （消臭機能は動作していますが、**消臭消火ランプ**(赤)は点滅しません）

消火するとき

点滅：消臭消火
運転 入/切

- ○約８秒間、未燃ガスを燃焼させてから消火します。
  このとき**消臭消火ランプ**(赤)が点滅し、消臭機能が動作していることをお知らせします。
  （**ひかえめ運転**で自動消火したときは**消臭消火ランプ**(赤)は点滅しません）
- ○消火するとき「**カタン**」という電磁弁が閉じる音がしますが、異常ではありません。また、異常停止や短時間での運転では消臭機能は動作しません。

設定温度を上げるとき・下げるとき

表示切換ボタン
温度/時刻調節ボタン
ひかえめランプ
ひかえめボタン
チャイルドロックランプ
チャイルドロックボタン
待機中ランプ

温度/時刻調節ボタンを押し、設定温度を調節します
○**室内温度**を目安に**設定温度**を調節してください。
○設定温度は12～30℃の範囲と、Lo(常に小火力)、Hi(常に大火力)に調節できます。
○現在時刻表示にしているときは、**表示切換ボタン**を押し温度表示にしてから調節してください。7ページ

設定温度を上げるとき

運転中に

20 ⇨ 21 ⇨ 30 ⇨ Hi

を押す
○1回押すごとに1℃ずつ上がります。
ポピッ

設定温度を下げるとき

運転中に

20 ⇨ 19 ⇨ 12 ⇨ Lo

を押す
○1回押すごとに1℃ずつ下がります。
ピポッ

ひかえめ運転

ファンヒーターがお部屋の暖まり具合を自動的に判断し、身体に感じる温度を変えることなく、暖かさを保つよう燃焼量を抑え運転します。また、狭い部屋や断熱のよい部屋で使用したり、秋口・春先など外気温が比較的高いときに室内温度が上がり過ぎると、燃焼を自動で入·切します。

ひかえめ運転にするとき

運転中に

ピッ
を押す
○**ひかえめランプ**が点灯します。

室内温度が設定温度より
+3℃になると → 20:23 ● 待機中
○**待機中ランプ**が点灯し自動消火します。
−1℃になると → 20:19 ○ 待機中
○**待機中ランプ**が消灯し自動着火します。

ひかえめ運転を解除するとき

ひかえめ運転中に

ピッ
を押す
○**ひかえめランプ**が消灯します。

メモ

○室内温度の表示は、室内平均温度の目安です。設置方法などにより必ずしも寒暖計の温度とは一致しないことがあります。
○電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは、設定温度が解除されます。再度、調節してください。

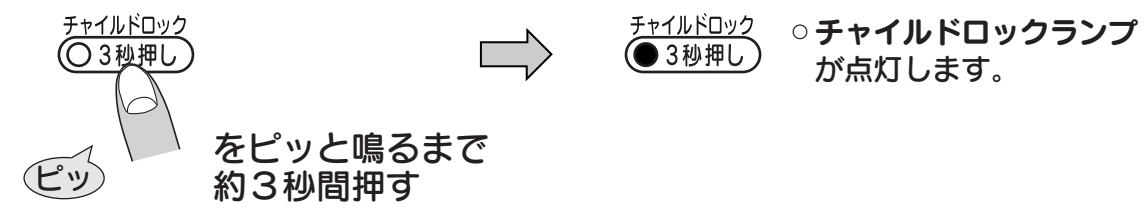
チャイルドロックを使用するとき

チャイルドロックをセットする

小さなお子さまのいたずらや、運転誤操作を防止したいときにお使いください。

チャイルドロックボタンを押し、セットします
運転中、運転停止中のどちらでもセットできます。

チャイルドロック ○3秒押し ⇨ チャイルドロック ●3秒押し
○**チャイルドロックランプ**が点灯します。

ピッ
をピッと鳴るまで約3秒間押す

運転中のとき

運転を停止できる

ピッ
を押す
○再度、運転を開始するときは、チャイルドロックを解除してください。

運転を延長できる

ピッピッ
を押す

運転停止中のとき

チャイルドロックの解除以外は、操作ができなくなります。

○電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは、チャイルドロックが解除されます。再度、セットしてください。

チャイルドロックを解除する

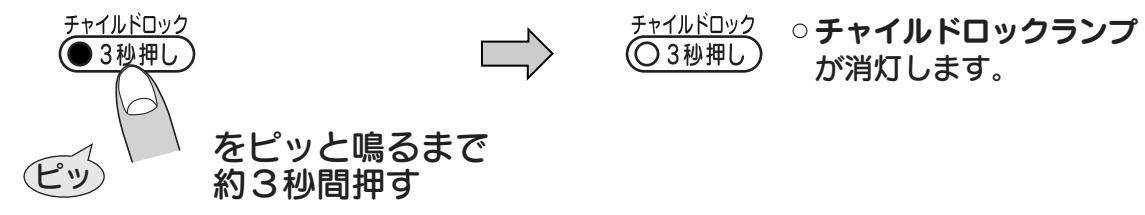
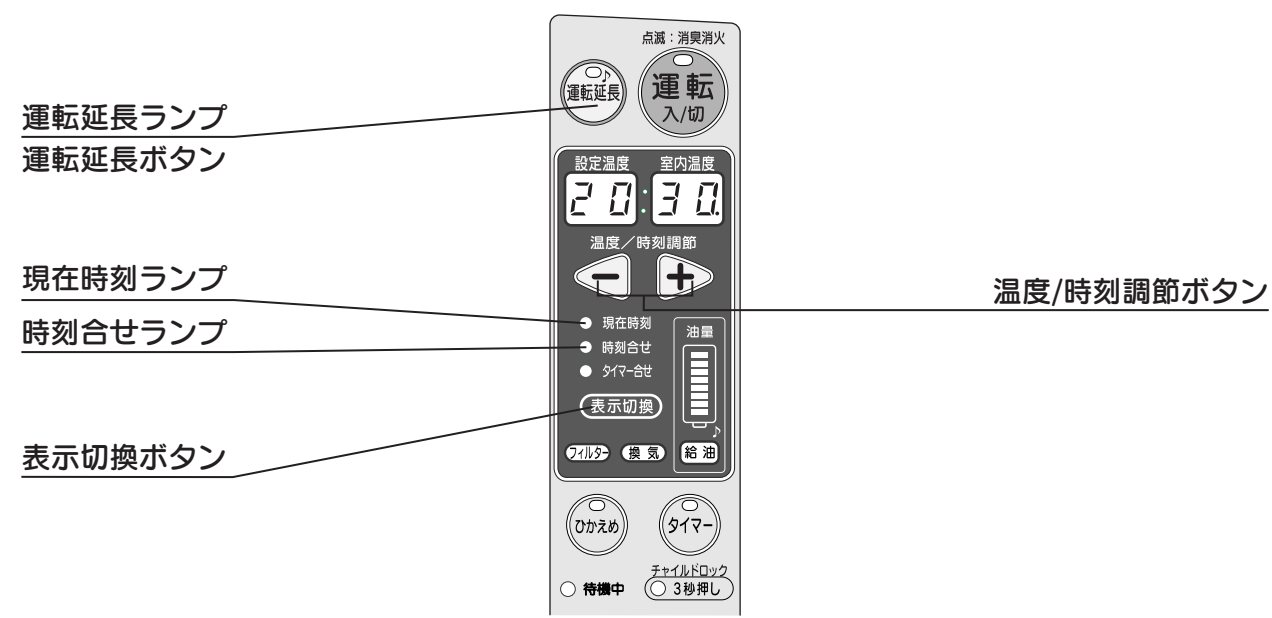
チャイルドロックボタンを押し、解除します
運転中、運転停止中のどちらでも解除できます。

チャイルドロック ●3秒押し

チャイルドロック ○3秒押し
○**チャイルドロックランプ**が消灯します。

ピッ
をピッと鳴るまで約3秒間押す

運転を延長・継続するとき

運転延長ランプ
運転延長ボタン
現在時刻ランプ
時刻合せランプ
表示切換ボタン
温度/時刻調節ボタン

消し忘れによる万一の事故を防ぐため、運転開始後、3時間で自動消火します

燃焼残り時間をお知らせするとき

３時間で自動消火する前に、**運転延長ランプ**と**メロディー**でお知らせします

（メロディーお知らせを電子音に切り換えるには･･･ 8ページ）

自動消火せずに運転を継続するとき

運転中に

を押す

○ **運転延長ボタン**は、燃焼残り時間のお知らせを行なったときに限らず、**運転延長ボタン**を押したときから、さらに３時間運転を継続します。

お守りください

- **継続して長時間運転するときは、お部屋の換気に十分注意してください。** 1ページ
- **寝るときや外出するときは、消し忘れ消火装置には頼らず、必ず運転 入/切スイッチで消火してください。**
  予想しない事故が発生するおそれがあります。

現在時刻を合わせるとき

タイマー運転を使用するときは、現在時刻を合わせてください
現在時刻合わせは、運転中、運転停止中のどちらでも行えます。

現在時刻を午後８時30分に合わせるとき

1 時計合せ表示にする 7ページ 8ページ

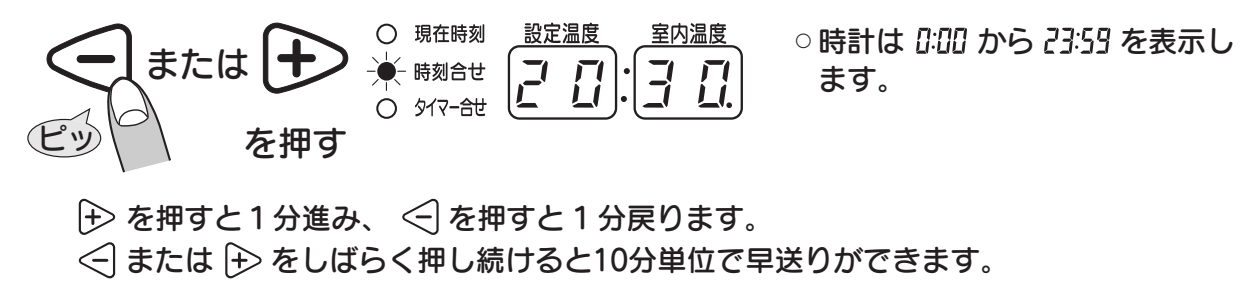
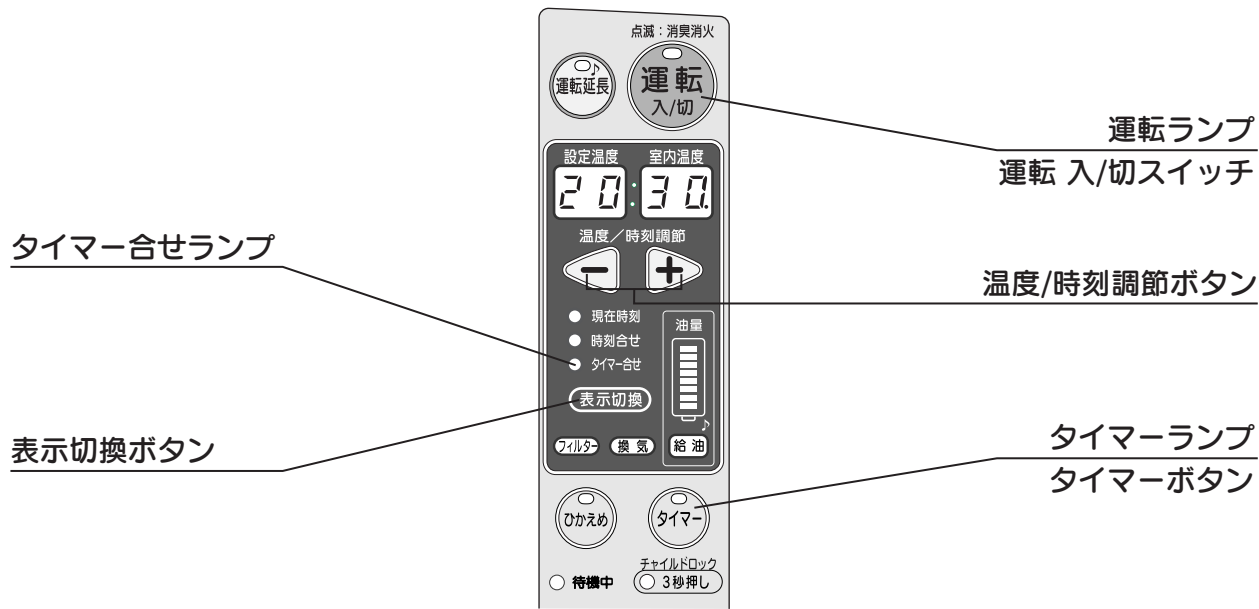
○ １度、現在時刻を合わせると、**時計表示**は点灯します。

2 現在時刻を合わせる

○ 時計は 0:00 から 23:59 を表示します。

＋ を押すと１分進み、－ を押すと１分戻ります。
－ または ＋ をしばらく押し続けると10分単位で早送りができます。

3 現在時刻表示にする

○ **現在時刻表示**になるまで、**表示切換ボタン**を押してください。

タイマー運転を使用するとき

タイマー運転開始時刻をセットする

タイマー運転を使用するときは、タイマー運転開始時刻を合わせてください
現在時刻合わせ、タイマー運転開始時刻合わせは運転中、運転停止中のどちらでも行えます。

タイマー運転開始時刻を午前６時30分にするとき

1 現在時刻が合わせてあることを確認する

を押す

○現在時刻を合わせないとタイマー運転はできません。
○現在時刻の合わせかたは、20ページを参照してください。

2 タイマー合せ表示にする 7ページ 8ページ

を押す

○１度、タイマー運転開始時刻を合わせると、**時計表示**は点灯します。

3 タイマー運転開始時刻を合わせる

を押す

○時計は 0:00 から 23:59 を表示します。

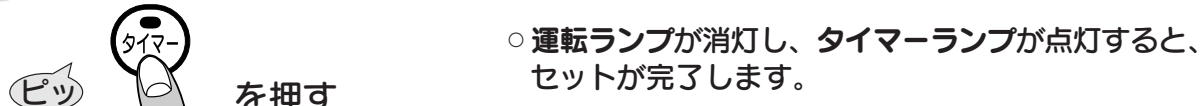
+ を押すと１分進み、− を押すと１分戻ります。
− または + をしばらく押し続けると10分単位で早送りができます。

4 運転状態にする
○運転中は、**運転 入/切スイッチ**を押す必要はありません。

を押す

○**運転ランプ**と**設定温度**、**室内温度**が点灯します。

5 タイマー運転待機中にする

を押す

○**運転ランプ**が消灯し、**タイマーランプ**が点灯すると、セットが完了します。

○タイマー運転のセットをしてから**運転 入/切スイッチ**を押すと、タイマー運転が解除されますので、ご注意ください。
○１度、タイマー運転開始時刻を合わせると、次回からは **4** 、**5** を行うだけで同じ時刻に運転が開始できます。

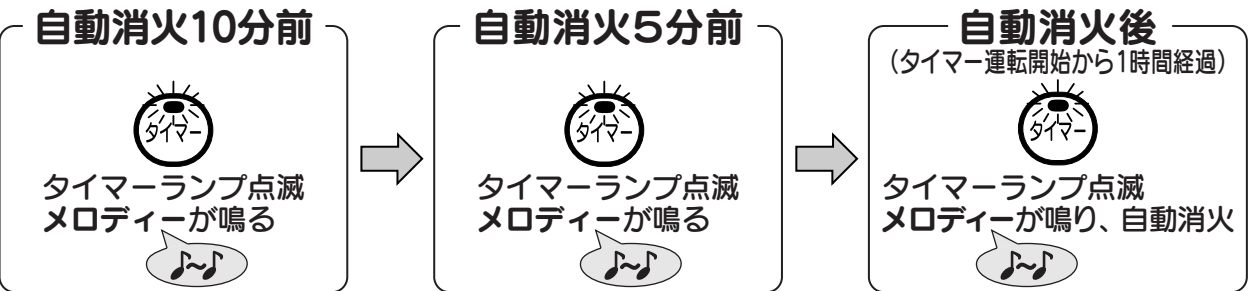
○電源プラグをコンセントから抜いたり、停電したときは、再度、現在時刻を合わせ、タイマー運転開始時刻をセットしてください。
○地震や強い振動、衝撃を受けたことにより安全装置が作動したときは、もう１度 **4** からセットしてください。

セットした時刻になるとタイマー運転開始

セットした時刻になると自動的にタイマー運転を開始し、安全のため１時間で自動消火します。自動消火する前に**タイマーランプ**と**メロディー**でお知らせします。
(メロディーお知らせを電子音に切り替えるには･･･ 8ページ)

自動消火10分前
タイマーランプ点滅
メロディーが鳴る

自動消火5分前
タイマーランプ点滅
メロディーが鳴る

自動消火後
(タイマー運転開始から1時間経過)
タイマーランプ点滅
メロディーが鳴り、自動消火

自動消火せずに運転を継続するときは、**タイマーボタン**を押し、タイマー運転を解除してください。

タイマー運転を解除する

タイマー運転待機中

を押す

○**タイマーランプ**が消灯します。

タイマー運転中

を押す

○**タイマーランプ**が消灯し、運転を継続します。

日常の点検・手入れのしかた

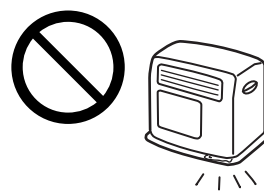
お守りください

○点検・手入れを行うときは、必ず運転を停止させ、本体が冷えてから電源プラグをコンセントから抜き、点検・手入れを行なってください。また、分解はしないでください。火災ややけどのおそれがあります。

ご使用のたびに

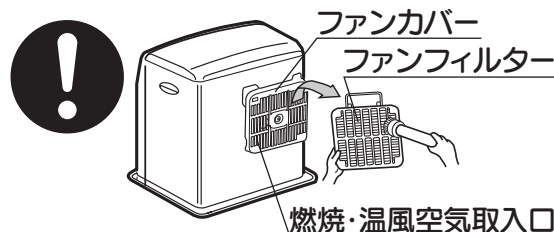
本体の周辺に可燃物はないか

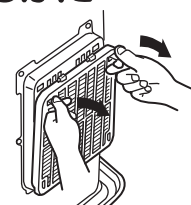
油漏れ、油のたまり、油のにじみはないか

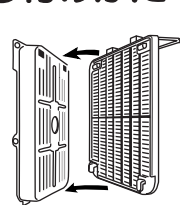
異常があるときは使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。

本体のごみやほこりをふき取る

柔らかい布でからぶきするか、うすめた中性洗剤をしみ込ませた布でふいてください。
本体をベンジン・シンナーなどでふかないでください。

週に１回以上は

ファンフィルターのほこりを取る

汚れがひどいときは、洗剤などを使って浸け置きし、水で洗い流してください。

ファンフィルターの外しかた

上のツマミを押し、手前に持ち上げる。

ファンフィルターの取り付けかた

下のツメをはめてから上部を押す。

お守りください

○ファンカバーからファンフィルターを取り外してお手入れするときは、ファンフィルターに強い力をかけないでください。
ファンフィルターが破損することがあります。

1カ月に１回以上は

対震自動消火装置の点検

燃焼中に本体をゆすり、消火するか確認してください。
消火しないときは修理が必要ですので、お買い上げの販売店にご相談ください。

1カ月に１回以上は

油受皿内の点検をする

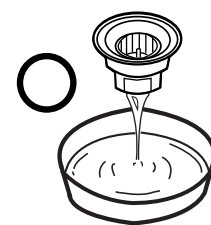
カートリッジタンクに直接水を混入しなくても、設置場所の温度変化などで結露によりホームタンクやカートリッジタンク内に水がたまり、油フィルター・油受皿内に流入するときがあります。水が混入していたときは、25ページの **2** に従い、水を取り除いてください。
また、ホームタンクやドラム缶を使用しているときは、年に数回、水抜きを行なってください。

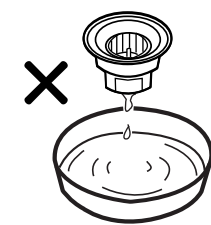
油受皿内に水が混入すると ････
- **給油ランプ**の点滅が止まらない
- 着火ミスしたり、異常停止する（E02、E03）

油フィルターの点検・掃除をする

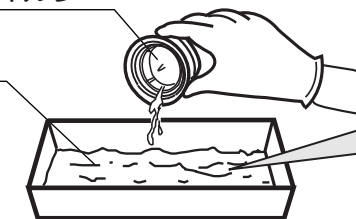
以下の手順に従い、点検・掃除を行なってください。

油フィルターに水やごみがたまっていると ････
- **給油ランプ**の点滅が止まらない

1 油フィルターを取り出して確認する
（取り出すときは、灯油などで床や衣服を汚さないよう注意してください）
○油フィルターに灯油を入れ、持ち上げる。

灯油が連続的に落ちる。
（油フィルターには少量の灯油が残ります）

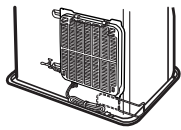
正常です。

灯油の落ちが悪い。または全く落ちない。
（油フィルターに灯油が多く残っている）

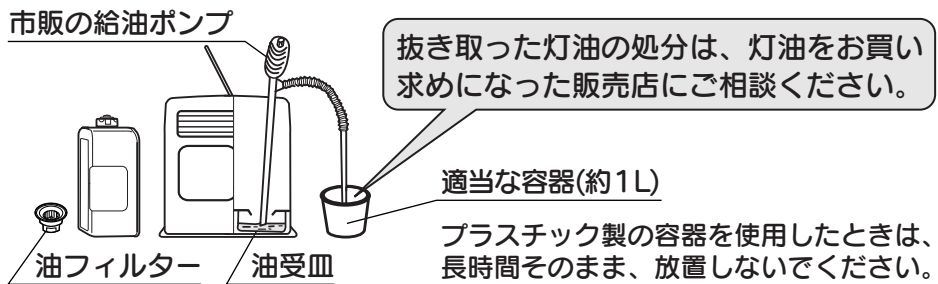
2 に従い、掃除してください。

2 油フィルターは、きれいな灯油ですすぎ洗いし、よく乾燥させる
○油フィルターは、きれいな灯油ですすぎ洗いし、ごみなどを取り除き、布などで灯油をふき取ったあと、日陰に置いてよく乾燥させてください。
油フィルターに水分が残っていると、灯油が落ちず、**給油ランプ**が点滅します。

洗浄後の灯油の処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。洗浄後の灯油を使用すると故障の原因になります。

保管（長期間使用しないとき）・廃棄のしかた

次の手順に従ってファンヒーターを保管してください

1 電源コードを束ねる

2 カートリッジタンク・油受皿内の灯油を抜く

○油フィルターを取り除き、市販の給油ポンプなどで、油受皿内の灯油やごみ、水を抜いてください。
（給油ポンプの先を平らにカットすると、抜き取りやすくなります）

メモ

○別売のスポイトを用意しています。スポイトを使用すると、市販の給油ポンプで抜けきらなかった灯油が抜き取りやすくなります。29ページ

スポイト
173円
(本体価格 165円)

3 ファンフィルター・油フィルターの掃除をする 23ページ 24ページ

4 本体の汚れをふき取る 23ページ

5 ファンヒーターを包装箱に入れる

○湿気の少ない場所に保管してください。

お守りください

○**ファンヒーターを傾けたり、横倒しの状態で保管しないでください。抜けきれなかった灯油が漏れ、火災のおそれがあります。**
○**カートリッジタンク・油受皿内の灯油を抜かずに保管すると、灯油が変質し、故障のおそれがあります。**
○**灯油は翌シーズンに持ち越さず、使いきるようにしてください。**

廃棄するとき

○ファンヒーターを廃棄処分するときは、各自治体の指示に従ってください。
○必ずカートリッジタンク・油受皿内の灯油を市販の給油ポンプなどで抜いてください。
灯油が入ったまま廃棄すると、リサイクルの際、思わぬ事故になるおそれがあります。
○灯油の処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。

故障・異常の見分けかたと処置のしかた

修理を依頼する前に

次の症状は故障ではありません。修理を依頼される前にもう１度ご確認ください。

○着火時

症　状	原　因
すぐ着火しない	○予熱時間が約45秒必要です。 ○給油直後は灯油が送油経路に回るまで時間がかかります。 ２、３回着火動作を繰り返してください。
「カタン」と音がする	着火するための動作音です。 異常ではありません。
初めて使用するときや灯油がなくなり、再び着火するとき白煙が出る	灯油の気化ガスがバーナに充分回らないと、このような症状が出ることがありますが、異常ではありません。

○燃焼時・消火時

症　状	原　因
初めて使用するときオレンジ色の炎や煙、臭いが出る	防錆油や耐熱塗料が焼けるためです。1時間ほどでおさまりますので、部屋の換気をしながらご使用ください。
炎の色がピンク、またはオレンジ色になる	超音波式の加湿器を使用すると起こります。水に含まれるカルシウム分による反応です。
炎の色がときどきチラチラと赤くなる	空気中のほこりが燃えるためです。
バーナの網が赤くなる	炎の中に常に黄色い炎が現れなければ、異常ではありません。
設定温度を高めに設定しても室内温度が上がらない	部屋が広すぎるときに起こります。
室内温度が設定温度より高くなる	狭い部屋や断熱のよい部屋で使用したり、秋口・春先など外気温が比較的高いときに室内温度が上がり過ぎてしまうことがあります。そのときは**ひかえめ運転**にしてください。17ページ
室内温度表示が部屋の寒暖計と一致しない	室内温度の表示は、室内平均温度の目安です。設置方法などにより必ずしも寒暖計の温度とは一致しないことがあります。
運転中や消火直後に「ポコ」、「パキッ」などの音がする	金属が熱により膨張・収縮するためです。 異常ではありません。
運転停止後、約８秒後に「カタン」と音がする	消火時の動作音です。 異常ではありません。
本体側面やカートリッジタンクが熱くなる	燃焼熱により熱くなりますが、異常ではありません。

故障・異常の見分けかたと処置のしかた

異常の原因と処置のしかた

何らかの異常で表のようなエラー表示や症状が現れたときは、適切な処置を行なってください

表示部(エラー表示)	原　因（安全装置）	処　置　方　法
全消灯 E00	○一時停電したため、自動消火した。 ○電源プラグが抜けたため、自動消火した。 **（停電安全装置が作動）**	電源プラグを確実にコンセントに差し込み、**運転 入/切スイッチ**を押し直す。（11ページ）
E01	○本体を傾けたため、自動消火した。 ○地震（約震度５以上）や強い振動、衝撃を受けたため、自動消火した。 **（対震自動消火装置が作動）**	○水平な場所に設置する。（11ページ） ○周囲の可燃物、機器の損傷、油のあふれなど異常がないことを確認したあと、**運転 入/切スイッチ**を押し直す。
E02 E03	油フィルターや油受皿内に水やごみがたまったため、着火ミスしたり、自動消火した。 **（点火安全装置が作動）** **（燃焼制御装置が作動）**	○カートリッジタンクや油フィルター、油受皿内の水やごみを取り除き、**運転 入/切スイッチ**を押し直す。（24ページ）（25ページ） ○処置を行なっても繰り返し作動するときは使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。（裏表紙）
E07	室内温度が異常に高温（40℃以上）になったため、自動消火した。 **（室温異常高温防止装置が作動）**	設置方法を確かめ、**運転 入/切スイッチ**を押し直す。
E09 フィルター フィルター	燃焼・温風空気取入口やファンフィルター、温風吹出口が物でふさがれたり、ほこりがたまったため、自動消火した。 **（過熱防止装置が作動）**	○燃焼・温風空気取入口やファンフィルター、温風吹出口の障害物を取り除き、掃除したあと、**運転 入/切スイッチ**を押し直す。 ○処置を行なっても繰り返し作動するときは使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。（裏表紙）
E13 換気	密閉した部屋で使用したとき、不完全燃焼（部屋の空気の異常状態）を防止するため、自動消火した。 **（不完全燃焼防止装置が作動）**	部屋の空気を入れ替えてから**運転 入/切スイッチ**を押し直す。 （使用中は必ず1時間に1～2回換気する）（1ページ）
	シリコーン配合商品の使用により、燃焼部にシリコン酸化物が付着したため、自動消火した。（3ページ）	お買い上げの販売店にご相談ください。（裏表紙）
運転延長ランプ点灯（19ページ）	燃焼を開始してから３時間が経過したため、自動消火した。 **（消し忘れ消火装置が作動）**	**運転 入/切スイッチ**を押し直す。
運転ランプ点滅 運転延長ランプ点滅 Err表示	**運転 入/切スイッチ**が押し続けられたため、自動消火した。	表示・操作部周辺の障害物を取り除き、電源プラグをコンセントに差し直してから**運転 入/切スイッチ**を押し直す。
上記以外のエラー表示 （例：F00，F0d）	修理・点検が必要な故障です。	表示内容を控えたあと、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。（裏表紙）

症　状	原　　因	処　置　方　法
ボタンを押しても反応しない	チャイルドロックがセットされている。	チャイルドロックを解除する。（18ページ）
	電源プラグが抜けている。	電源プラグをコンセントに差し込む。
換気ランプの点滅が止まらない	部屋の換気が不十分。	換気を十分に行う（使用中は必ず1時間に1～2回換気する）。（1ページ）
	シリコーン配合商品の使用により、燃焼部にシリコン酸化物が付着した。（3ページ）	お買い上げの販売店にご相談ください。（裏表紙）
給油ランプの点滅が止まらない	灯油がなくなった。	給油する。（13ページ）
	本体が傾いている。	水平な場所に設置する。（11ページ）
	カートリッジタンクが変形している。	油フィルターに灯油がたまっていないときは、カートリッジタンクを新しいものと交換する。（29ページ）
	カートリッジタンクが間違っている。	本体専用のカートリッジタンクを使用する。（5ページ）
	油フィルターや油受皿内に水やごみがたまっている。	カートリッジタンクや油フィルター、油受皿内の水やごみを取り除き、油フィルターは水分をよく乾燥させる。（24ページ）（25ページ）
火力が上がらない	給油ランプが点滅している。	
	給油ランプが点滅している。	給油する。（13ページ）
	変質灯油・不純灯油を使用した。（12ページ）	○灯油を抜き、きれいな灯油でカートリッジタンクや油受皿内、油フィルターを洗う。（24ページ）（25ページ） ○着火・消火を５回程度繰り返す。 （少し臭いがしますので、換気を十分に行なってください（1ページ））
異常燃焼を起こす（15ページ）	変質灯油・不純灯油を使用した。（12ページ）	
	ファンフィルターにほこりがたまった。	ファンフィルターの掃除をする。（23ページ）
臭いが強い	変質灯油・不純灯油を使用した。（12ページ）	灯油を抜き、きれいな灯油でカートリッジタンクや油受皿内、油フィルターを洗う。（24ページ）（25ページ）
	灯油がこぼれたり、漏れている。	使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。（裏表紙）
油が漏れている	カートリッジタンクを入れたまま移動した。	
	不純灯油を使用した。（12ページ）	

処置を行なっても直らないとき

故障が考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。（裏表紙）
故障したまま使用を続けると、予想しない事故が発生するおそれがあります。

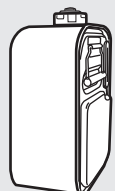
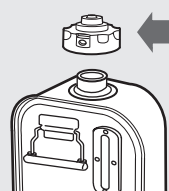
部品交換のしかた

部品交換が必要なときは、お買い上げの販売店、または(財)日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)、または技術講習会修了者(点検整備士)のいる販売店などにご依頼ください。

お守りください

○ **修理・部品交換は、お客様自身では絶対に行わないでください。けがややけどのおそれがあります。**

部品のご注文のしかた

次の別売部品は、お買い上げの販売店にご注文ください。その際は、型式の呼び・部品名をはっきりとお伝えください。また、インターネットでもご注文ができます。裏表紙

この価格は本ファンヒーター用です。
また、価格は予告なく変更することがあります。
その他の部品についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

定期点検のおすすめ

2シーズンに1回の定期点検(有料)をおすすめします

長期間ご使用になりますと機器の点検が必要となります。
点検を受けないと、予想しない事故が発生するおそれがあります。
未然に事故を防止するため、シーズン初めやシーズン終了時にお買い上げの販売店、または修理資格者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会(TEL03-3499-2928)〕で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)のいる店などに点検依頼されることをおすすめします。

愛情点検 長年ご使用のファンヒーターの点検を！

こんな症状はありませんか	・油漏れする。 ・強い臭いがする。 ・運転中に異常な音がする。 ・その他の異常や故障がある。	▶	ご使用中止	故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

仕　様

型式の呼び		FB-565LD
種類		気化式・強制通気形・強制対流形
点火方式		ヒータ点火
使用燃料		灯油(JIS 1号灯油)
燃料消費量	最大	5.60 kW(0.544 L/h)
	最小	1.34 kW(0.130 L/h)
暖房出力	最大	5.60 kW
	最小	1.34 kW
騒音(正面)	大火力	39 dB
	小火力	25 dB
油タンク容量		9.0 L
燃焼継続時間	大火力	16.5 時間
	小火力	69.2 時間
標準適室	木造	25.0 m²(15畳)
	コンクリート	33.0 m²(20畳)
外形寸法(高さ×幅×奥行)		455 mm×527 mm×357 mm(置台を含む)
質量		約14.5 kg
電源電圧及び周波数		AC100 V　50/60 Hz
定格消費電力	最大	420/420 W(点火初期に短時間発生)
	燃焼時	195/195 W(大火力時)
		86/ 86 W(小火力時)
	待機時	1.0/1.0 W
安全装置		停電安全装置、対震自動消火装置、燃焼制御装置、点火安全装置 不完全燃焼防止装置、過熱防止装置、消し忘れ消火装置
その他の装置		室温異常高温防止装置

保証とアフターサービス

使用方法・お手入れのしかた・修理のご相談、別売部品の購入などは、お買い上げの販売店にご相談ください

保証について

●保証書(別添付)

販売店で必要事項を記入してお渡ししますので、記入内容をお確かめのうえ、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

●保証期間

保証期間は、お買い上げ日から本体3年間です。なお、消耗部品(油フィルター、ファンフィルター)の取り替えは、保証期間中でも有料となります。他にも有料となることがありますので、保証書をよくお読みください。

保証とアフターサービス（つづき）

補修用性能部品について

○補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
○本ファンヒーターの補修用性能部品は、製造打切り後９年保有しています。

修理を依頼されるときは

○「故障・異常の見分けかたと処置のしかた」に従ってお調べください。26ページ 27ページ 28ページ
○処置を行なっても直らないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。そのときは、右の事項をご連絡ください。

品　　　名：ダイニチブルーヒーター
型式の呼び：本体側面に表示
お買い上げ日：保証書に記載
故障の症状：エラー表示など、できるだけ詳しく

●保証期間中
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているとき
修理すれば使用できるときには、ご希望により有料修理させていただきます。

●修理料金
技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。

お守りください

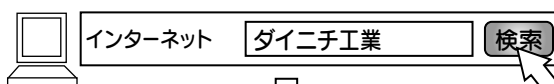
○修理などでファンヒーターを運搬するときは、必ずカートリッジタンク・油受皿内の灯油を抜いてください。運搬の途中で灯油がこぼれて周囲を汚すおそれがあります。

ご相談窓口（使用方法・お手入れのしかた・修理のご相談、別売部品の購入など）

お客様ご相談窓口(通話料無料)
TEL 0120-468-110
FAX 0120-468-220
＜受付時間＞
11月～ 1月 9:00～19:00
(土は～17:00、日・祝日・年末年始は休み)
2月～10月 9:00～12:00、13:00～17:00
(土・日・祝日は休み)

インターネットからのお問い合わせ
＜24時間受付＞

「お客様サポート/お問い合わせ」
http://www.dainichi-net.co.jp/support/

※型式の呼び(本体側面に表示)をご確認のうえ、ご連絡ください。

ダイニチ工業株式会社におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

1.ダイニチ工業株式会社(以下「弊社」)は、お客様の個人情報をお客様からのご相談への対応や修理及びその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
2.次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
①修理やその確認業務を委託する場合
②法令の定める規定に基づく場合
3.個人情報に関するご相談は、お問い合わせいただきました窓口にご相談ください。

ダイニチ工業株式会社
〒950-1295 新潟市南区北田中780-6
ホームページ　http://www.dainichi-net.co.jp/

FB-565LD・5・**,000-1